

女性医師支援に力

出産や子育てで就業やキャリア形成に悩む女性医師の相談に乗るため、県が浜松市東区の浜松医科大学医学部付属病院内に開設した「ふじのくに女性医師支援センター」が八日、本格的に活動をスタートさせた。

(飯田樹与)



同センターでは、職場復帰を希望する女性医師に、専任のコーディネーター二人が対応する。その一人の袴田菜穂子さんによると、相談の八割が子どもの預け先だったため、託児施設のある医療機関を紹介する。今後は付属病院内の診療科や、医療施設ごとに異なる就業時間や内容など勤務条件を把握し、復職を後押しする。

ほかにも、復帰前の職

女性医師の相談に乗るコーディネーターの谷口千津子さん(左)と袴田菜穂子さん(右)も浜松市東区の浜松医科大学医学部付属病院で

浜松医大に相談センター 復職など後押し

場見学や事前研修などの復職トレーニングプログラムをつくり、運用する。県地域医療課によると、医師が不足状況にある。成機関は浜松医大だけ

傾向にあり、現在は全体の20%を超える。年代が若くなるにつれて割合が増える半面、年齢が上がると「ふじのくに」を冠して理由に離職者が増えて開所した。



さらに、県内の医師養育、今野弘之学長は「全県にわたって女性医師にとって必要不可欠な活動をしていきたい」とあいさつ。県健康福祉部の山口重則部長とともにセンターの入り口に看板を掛けた。

もう一人のコーディネーターで医師の谷口千津子さんは「やる気があったら来てもらい、生き方、働き方のヒントを見つけてもらえたら」と呼び掛けている。

ふじのくに女性医師支援センターの開設を祝う関係者

問い合わせは、同センター 電話053(435)2380へ。